

健康寿命を伸ばそう！

栗原クリニック東京・日本橋院長の栗原毅氏と同歯科医師の栗原文徳氏を講師に迎えた「第2回町民文化講演会」が2月20日、総合文化センターで開催され、町内外から約90人が参加しました。

栗原クリニック東京・日本橋になった本講演会は「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業」の一環として開催したもので、町教育委員会主催のもと、日本財団、B&G財団・よいち福祉会・積丹町社会福祉協議会の後援で実施しました。



栗原 毅 医師

前半は栗原毅医師が「冬の運動不足解消」と題した基調講演を行い、後半は栗原文徳歯科医師が「口腔内ケアと健康」と題し説明を行いました。



栗原 文徳 歯科医師

栗原毅院長は「予防医療が重要な時代を迎えている。運動が認知症の予防となり、健康寿命を延ばすこととなる。」と話し、運動や食事、口の中の健康保持などの工夫で健康に生きることの重要性を話されたほか、海洋センターの運動設備等や活動量計（3ページ参照）を有効利用しながら運動を通じて地域の交流を深め、人との繋がりを大切にするこの重要性を参加者に伝えました。

また、翌日21日には「町民文化講演会野塚地区出前講座」と題し、野塚地区ふれあい交流館での講演も実施されました。

B & G 財団

菅原悟志専務理事が初来町

2月2日、B&G財団（東京都）の菅原悟志専務理事が来町し、「海洋センターを活用した地域コミュニティの再生に関するモデル事業」の実施状況の視察を行いました。松井町長と十河教育長から説明を受けた菅原専務は、同財団の支援により、大きく変化した施設を高く評価されていました。



▲松井町長、十河教育長から施設の説明を受ける菅原専務理事（写真中央）

町教育委員会職員 丹場康雄さん
B & G財団より最高位「ゴールド褒賞」受賞！

1月30日、東京都港区の笹川記念館で開催された「B&G全国指導者会」の総会の中で、優れた実績を重ねた指導員を称える「B&G海洋性レクリエーション指導員褒賞」の表彰式が実施され、町教育委員会生涯学習課の丹場康雄さんが最高位のゴールド褒賞を受賞しました。

14年間に及ぶ指導歴と地域の健康づくりへの貢献が高く評価されての受賞に「これからも地域の健康づくりの拠点としての海洋センターの役割を高めていきたい。」と今後の意欲を語っていました。



丹場康雄さん
(町教育委員会生涯学習課)

2016 しゃこたん 夢あかり



今年で第13回目となる町商工会（山本俊二会長）主催の「しゃこたん夢あかり」が2月6日に開催されました。今年も町内各地の家庭や事業所の玄関前には、人気キャラクターなどの趣向を凝らした雪像やソーキャンドルが飾られ、午後5時の花火と共に町中が温かい光りに包まれました。

また、美国町の中央交差点付近のメイン会場では同会女性部がかぼちゃスープや肉まん、あんまんを提供し、来場者の体を温めました。

当日は深々と雪が降り続く中、幻想的なキャンドルの光が街を照らしていました。

姉妹都市交流事業

町内各小学校児童が香美市を訪問

1月14日から17日まで3泊4日の日程で町内各小学校6年生の児童12名が姉妹都市の高知県香美市を訪問しました。

児童たちによる今回の姉妹都市交流事業は、香美市の方々とともに、文化や慣習の違いを体験し、広い視野と社会に適應する力を育成することを目的に行われたもので、児童は香美市内で名産のフラフ（旗）作り体験

や国の天然記念物に指定されている鍾乳洞の龍河洞、アンパンマンミュージアム等をはじめ、高知市内の高知城や桂浜などの名所を見学した他、香美市立大宮小学校を訪問し、積丹町の紹介を行ったり、給食を一緒に食べるなど楽しい時間を過ごし、さらに香美市児童宅へのホームステイも行い、互いに交流を深めました。

また、児童は香美市役所への表敬訪問も行い、法光院市長と今田副市長へ挨拶をしました。



▲大宮小学校を訪問

参加した児童の感想文には、気候の違いをはじめ、フラフ作りや鍾乳洞散策の体験、異なる食文化への驚き等について綴られています。が、全員が深く思い出されたものは、香美市の同世代の仲間たちとの交流でした。北と南の絆を未来に繋ぐきっかけとなった実り多い今回の訪問交流でした。